

6月1日(日)、文化ホールで2025憲法週間&男女共同参画週間「市民の集い」を開催しました。

映画「風よあらしよ(劇場版)」を上映しました。

当日ご参加いただいた方に、感想をいただきました。



『風よあらしよ／劇場版』野枝、生きます。』は村山由佳さんの小説を元に'22年にNHKBSで放送された連続ドラマを再編集、'24年に公開された映画で、原作者の村山さんは'03年に『星々の舟』で直木賞を、'21年に本作で『吉川英治文学賞』を受賞した令和の日本を代表する作家です。

史実に基づく評伝小説を発表、吉川英治文学賞受賞、NHKBSで連続ドラマ化、再編集し劇場上映と、わずか三年で異例の展開となりました。百年以上も前の出来事を題材にしていますが、コロナ禍も相俟って閉塞感漂う時代にマッチしたのだと思います。

ドラマ&映画では、大正時代、当時の結婚制度や社会道徳に異議を唱え、女性解放を訴えた凛とした主人公を吉高由里子さんが熱演、その演技力は高い評価を受けました。

オープニング、暗闇の中で小さく丸い青空を見上げて何かを叫ぼうとする主人公、これが関東大震災に乗じた憲兵の理不尽な暴力で全身の骨を折られ、枯れ井戸に投げ捨てられたエンディングに繋がります。ハッピーエンドに終わらないが無力感はわかず、むしろ(サブタイトル通り)「伊藤野枝が生きていれば、今の日本は全く違った物に

きずな

第27号

2025年10月

＜発行＞
泉南市人権啓発推進協議会

バックナン
バーはこちら



なっていたのでは？」と考えさせられました。

'24年4月に、日本航空社長に鳥取三津子さんが就任したのを皮切りに、検事総長に畠本直美さん、日弁連会長に淵上玲子さん、日本将棋連盟会長に清水市代さん、といった方々の就任が報道されています。

天国で伊藤野枝はこれらの報道をどう感じるだろう？私は決して手放しでは喜ばない、むしろ「遅すぎる」と怒っていると思います。

『女性初の○○』がニュースとして価値がない時代が来る事を願っています。

(西信達校区 柿本 繁雄)

市内4駅で 駅頭啓発を行いました

4/25(金)「憲法週間&男女共同参画週間」、5/30(金)「泉南市人権尊重のまちづくり条例」の啓発を行うため、市内4駅で早朝の約1時間、人権協委員・人権擁護委員・市職員のメンバーで、ポケットティッシュを配布しました。



☆【参加者の声】

- ・意志を持って強く行動する主人公に感心しました。
- ・今の世の中だからこそ、一人でも多くの人に見ていただきたい映画だと思いました。
- ・性差による偏見を持つてはいけないことを学びました。よく理解できる映画でした。
- ・生まれる前の出来事ですが、大変ショックでした。先人の苦勞によって今の私たちがあると再認識しました。

校区の集いを 開催しました！



5月・6月に市内5つの小学校で、校区の集いが開催されました。信達小学校では、「ネット・スマホの賢い使い方」、一丘小学校では「諦めず夢を追い続けて～BMXが好き、全てはその気持ちから～」、鳴滝小学校では、「手話×エンターテインメントでバリアクラッシュ」、樽井小学校(保護者・地域の方のみ)では、『「答え」ではなく「問い」を生み出す子どもの育成～地域とともに未来を切り拓く、樽井小の先進的な教育研究～』、雄信小学校では、「ウクライナのお話～私が学んだウクライナの心～」をテーマに開催されました。

参観日に合わせて実施しているため、保護者の参加も多く、帰られてから、お子さんと集いの内容についてお話される保護者もいらっしゃると思います。

校区の集いには、地域の方も自由に参加できるので、機会があればご参加ください。



講師：富田 幸子さん@信達小学校



YUYAさん@一丘小学校

うべきである



高谷 光信さん
@雄信小学校



手話エンターテインメント発信団oioiさん@鳴滝小学校



佐久間 敦史さん@樽井小学校

4月27日 ABCまつりに参加しました！

陽気に恵まれた暖かい一日でした。スタッフとして人権のブース設営を行い、風船を膨らませているうちに細長い風船でアートに挑戦。YouTubeを参考に犬を作るつもりが、仕上がりはネズミ…？そんな些細な楽しさもイベントの魅力です。

会場では、ぜんざい、パン、農業塾の野菜、わたがしなど屋台が並び、キッチンカーも賑わっていました。友人家族と会い、娘さんにわたがしをプレゼントするなど、ほのぼのとしたひとときを過ごしました。

ホールのステージでは地元の子どもたちのダンス、いずみ野福祉会さんの南中ソーラン踊り隊「夢舞(ムーブ)」や泉南市吹奏楽団の演奏、泉南市ジュニア合唱団の発表等があり、ホールでのパフォーマンスは、会場が一体となり盛り上がりました。

編集後記

きずな新聞27号は、いかがでしたでしょうか？

講座や講演会、イベントに参加いただいた方の貴重な感想が参加出来なかった方にも内容を知っていただける機会になり、次は、ぜひ参加したいと思ってもらえるそんな紙面作りができればと思っています。(生)

(一丘校区 岡本 晃)

泉南市ABCまつり最大の魅力は、誰もが笑顔で楽しめる温かい雰囲気です。外国人の青年2名とも交流し、異なる文化を尊重し合う素晴らしさを実感しました。参加者が自分たちの文化とは異なる文化に触れた新たな発見を共有する光景は、人権が守られる場そのものでした。

地域の温かさと泉南市の魅力を再発見した素晴らしいイベント。また来年の参加が楽しみです。

戦後80年 非核平和の集い



泉南市では、平和の意味や大切さを考える機会とするため、毎年8月を「非核平和月間」とし、様々な取り組みを行っています。

戦後80年となる今年度は8月3日（日）に、総合福祉センターあいびあ泉南で、2025「非核平和の集い」として、平和の祈りを込めて、ウクライナの伝統楽器であるバンドウーラのコンサートを開催しました。

泉南市制55周年
2025 非核平和の集い
平和への祈りを込めて
バンドウーラコンサート
2025年
8月3日(日)
泉南市総合福祉センター
(あいびあ泉南)
開場/13:00
開演/13:30~15:30
ウクライナの伝統楽器
バンドウーラ奏者・歌手
Kateryna
ガテリナ

●定員: 100名(申込先着順) ●申込費: 無料(整理券別途) ●申込方法: 市民交流センターで整理券を配布します。整理券の申込費でお申し込み下さい。
●申込開始: 7月11日(金) ~ 申込: 09:00~17:30
●申込終了: 7月24日(木) 申込は、各店舗の申込用紙に記入し、7月24日(木)までに市民交流センターまでお申し込みください。
●その他: 手話通訳あり
●駐車場: 臨時駐車場(右側)もしくは左側に駐車にいただきます。ご協力をお願いいたします。
●お問い合わせ: 泉南市 市民交流センター TEL: 072-480-2855 Fax: 072-482-0075 E-mail: kinkin@city.aomin.jp
主催: 泉南市、泉南市教育委員会、泉南市人権擁護推進協議会、泉南市人権擁護推進協議会泉南市市民協議会、一般社団法人泉南市人権協会、泉南市人権啓発推進委員会、泉南市人権啓発推進委員会、泉南市人権啓発推進委員会、泉南市人権啓発推進委員会

市民交流センターにて、
カテリーナさんのCDと本の
貸出を行っています。ご興味のある方は、センターまで。

スクリーンに戦争前のウクライナがドローン映像で映し出されました。素晴らしい景色に見とれてしまいました。

面積が日本の一・六倍もあるそうです。三年半前に始まった戦争でウクライナを知りました。また、元横綱 大鵬のお父さんが、ウクライナ・ハルキウの出身だそうです。現在は安青錦（あおにしき）が、今場所最後まで頑張っていました。応援する力士の一人です。

カテリーナさんのお話で、十九歳で日本に来て二十年になり、十五歳の息子さんがいます。戦争になりウクライナに帰りたいと言うお母さんに、息子は帰らないで欲しい、日本で母さん

にしか出来ない侵略戦争の事を伝えてほしいと懇願されたそうです。何度も日本が安心で安全な国である事を強調されていた事に心打たれました。

最初の曲は「幸せの鳥」生き物を大切にするという内容だそうです。二曲目の「翼をください」の曲は、赤い鳥の歌声で有名ですが、カテリーナさんが歌うと、いっそう胸にこみ上げてくるものがありました。

楽器バンドウーラの説明があったのですが、昔は男性が弾き語りをされていて四百人位の弾き語りの人が一斉に殺されたと言き心が痛くなりました。

私が読んだ尊敬する池田大作著の小説「人間革命」の冒頭に、

「戦争ほど、残酷なものはない。戦争ほど、悲惨なものはない」とあり小説「新・人間革命」には、「平和ほど、尊きものはない。平和ほど、幸福なものはない。平和こそ、人類の進むべき根本の第一歩であらねばならない」とあります。

☆【参加者の声】

今、世界は人類の生存権を左右する非常に厳しい状況です。戦争の悲劇を地球上からなくし、どの国の民衆も平和に生きられる世界を築きたいと平和への決意を強く感じました。
(鳴滝校区 原 憂子)



・音楽、お話、最高でした。演奏を聴きながら現実の悲しいウクライナやその他の国の現実を思い、涙するばかりでした。一日も早く戦争が終わります様に。
・ウクライナのお話がとてもよかった。ニュースではわからないことも話してもらってすごく身近に感じました。
・バンドウーラの美しい音色、カテリーナさんの歌声、そして語り、大変感動しました。



・映像では素敵な国なのに戦争によって破壊されて悲しいことです。平和について改めて考えさせられました。

・戦争がどんなにか残酷で悲しいものなのか心が震えるほど感じる事ができました。カテリーナさんの話される言葉のひとつひとつが心にしみいつてきました。戦争を許さない国づくり是非政治に生かしてほしい。

・素晴らしい演奏でした。ウクライナの楽器を知ることができ嬉しかった。でも日々止むことのない戦争の事を考えると心が痛みます。ウクライナと世界に早く平和が訪れてほしい。ウクライナの旗の様に青い空、広々とした大地。核などもってのほかです。

人権協総会 記念講演会

5月17日、会員並びに来賓の方々の出席のもと、令和7年度の総会を開催しました。昨年行いました様々な事業を報告した後、本年度の活動計画・予算案・新役員体制が承認されました。総会後には、記念講演会が行われました。



しずめ ひろふみ
鎮目 博道さん

(テレビプロデューサー、コラムニスト)

5月17日(土) 泉南市
人権啓発推進協議会の総会の第2部で記念講演が行われた。演題は「メディアと人権〜テレビ業界のできごとを中心に〜」で、講師は鎮目博道さん。

ここ数年、夕食時の夫婦の会話で、「番組、何かいいのがある?」と尋ねると即座に妻が「ない!」の一声。更に「7時から剣客商売か鬼平犯科帳があるが、前に見たかもしれない?」「じゃあ剣客商売」と答えて、剣客商売を見終わって、番組のあちこちの画面を出す。延々とCMがあつて、その後の番組はお笑いか何か分からぬ番組が殆どで、名前も知らないが出演者が馬鹿笑いしている画面が出ると、即、別の番組に切り替えてしまう。

「こんな番組にスポンサーは良く金を出すわ。」と、スポンサーの無責任にも予先が向かい、あの商品は買うもんかと思う。極力、製作費を削減するため、取材をおざなりにして、面白いことを言うような人気タレントを集め、決められた筋書きになるようお膳立てをして、尚も出演者の馬鹿笑いを放送している。毒にも薬にもならない画像を、テレビ局は平気で流している。結果、私はテレビ離れをさせていただいた。

視聴率で評価するのでしようが、視聴者は見る番組が他にないので、笑える番組で暇つぶしに見ているだけ、かもしれない。

今回の講演で、鎮目さんが、自身のテレビが面白くないと感じる様々な理由を解き明かしていただき、テレビ業界の現状が、出演者・製作者・視聴者・関係

者など、何らかの形で関係者の人権を侵害していることがよくわかった。

本来はコンプライアンス遵守を訴えるべきテレビ業界が、コンプライアンスの自覚が無く、大御所と呼ばれるタレントをおもねりとか、へつらいで何でも許されると増長させてしまう。また社員の人権を無視し、社員を人身御供(ひとみごくう)で派遣して潰した結果、色々なことが表面化したのが今のフジテレビの問題であるとわかった。

テレビ業界で問われている、旧ジャニーズ事務所問題、松本人志さんの報道等を、見て見ぬふりをする背景や対応の経過を詳しく説明していただき、人権侵害の防止には、メディアリテラシーと言うそうだが、私たち視聴者も番組をそのまま鵜呑みにせずに、主体的に解説・評価する力を身に付けて、どんどんテレビ局やスポンサーに意見を言う

て、メディアに携わる人たちの人権意識向上を訴えるべきであると理解できた。

私たちが人権啓発推進に取り組む活動の一環として、このメディアの人権侵害問題は大変良く理解できる講演であった。

(会長 張戸 節雄)



各校区人権協でも総会を実施しました

泉南市人権啓発推進協議会は、9つ(新家・雄信・樽井・鳴滝・一丘・砂川・西信達・東・信達)の校区人権啓発推進協議会から成り立っています。

今年度も各校区において総会が実施され、令和6年度の事業・決算報告・令和7年度の事業計画・役員・予算が承認されました。

また総会後には、人権についての見識を深める研修会を行っています。

今年度は「泉南市子どもの権利救済委員会」をテーマに、研修を行いました。

本年4月に創設された子どもの権利救済委員会について、健康子ども部、子ども政策課の職員から創設までの経緯や、仕組みについて講演がありました。

☆【参加者の声】

- ・日頃見ているテレビ番組が、人権に関わる内容が多くあることがよくわかりました。
- ・フジテレビの件は知っていたが、こんなに多く我々の楽しんでいるテレビ業界が人権侵害をしていたとは驚いた。
- ・誰もが暮らしやすい国になるように、少しでもおかしいなと気が付いたら発信できるようにしていきたい。